

ビジョン作成ワークショップ



愛媛大学 教育企画室 阿部 光伸
(愛媛大学教職員能力開発拠点SDC)

Exercise

これから私の言うことを
そのまま描いてください

(心理テストではありません)

目的

- スタッフ・ポートフォリオ作成の体験
- 職員としての理念・ビジョンを整理する
- エビデンスを整理する

方法

「ボトムアップ法」

- 日頃の具体的取り組みから理念を明確にする
- 将来の理想を考えることからビジョンを明確にする

なぜ・なぜ ワーク①

Q. どうして大学職員になったのですか？

その理由をどんどん掘り下げてください。

(10分間×2)

ジョハリの窓

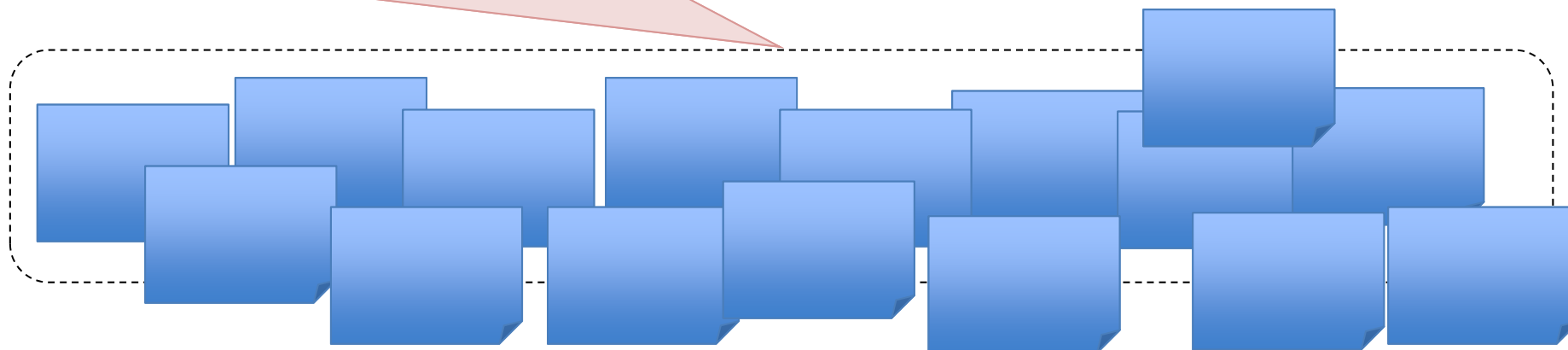
		自分自身が	
		知っている	知らない
周囲の人が	知っている	開放された窓 自分も分かっており 他人も知っている自分	盲点の窓 自分は気付いていないが 他人が知っている自分
	知らない	秘密の窓 自分には分かっているが 他人には分からない自分	未知の窓 自分も他人も 気付いていない自分

ミニ・ワーク

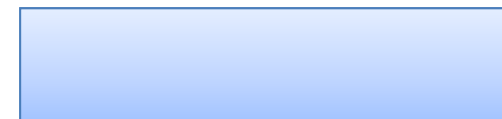
Q. 大学職員・教員を職業として選んだとき、
採用当初の夢や抱負は何でしたか？

付箋1枚に一つずつ書き出してください。
(2分間)

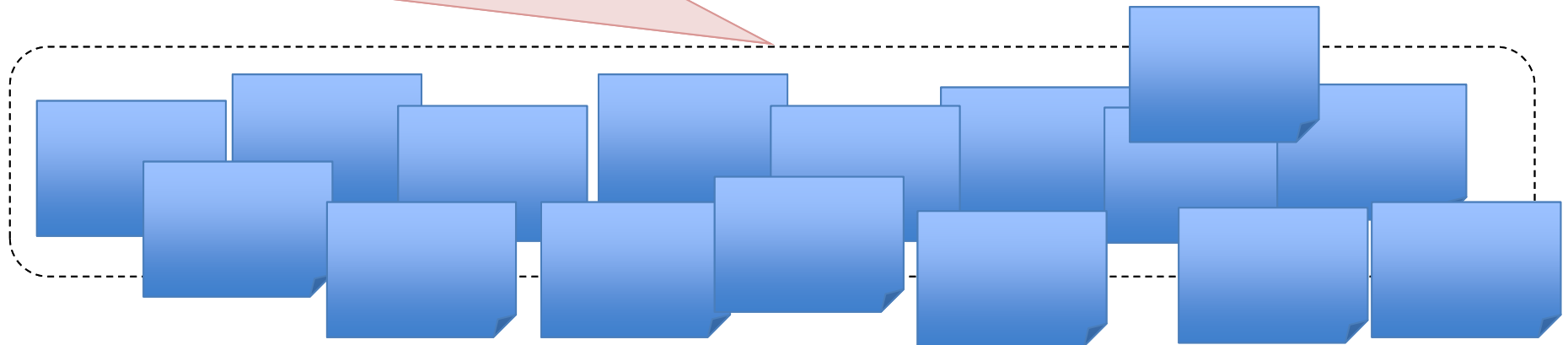
採用当初の夢や抱負を右のグループに貼ってください



(B)



採用当初の夢や抱負を右のグループに貼ってください



上のカードから
人生の残りの時
期に実現できそ
うな夢を一つ選
んでください

そのために、
何をなすべきか

ミニ・ワーク

Q. 大学職員・教員を職業として選んだとき、
採用当初の夢や抱負は何でしたか？

付箋1枚に一つずつ書き出してください。
(2分間)

その理由も含めて隣の方と一人2分間で
話をしてください。
(2分間×2)

2. 日頃の職員としての活動について

日頃、職員・教育者として

- 工夫していること
- 心がけていること
- 大切だと考えて実践していること

をたくさん挙げ、付箋1枚に一つ書いて
ください。

(10分間)

【例】

- 積極的に挨拶をするようにしている
- 新聞記事やニュースは小まめにチェックしている
- 高等教育関連のメールマガジンを受信している
- 係の同僚・部下とチームで働くように心がけている
- 職員や学生と飲み会を頻繁に行っている
- 就業時間・休憩時間を厳守している
- 学生の手本となるような服装を意識している
- 学生や部下の相談にのっている
- 学内のゴミを拾ったり、分別をしたり、節電を心がけている
- 喫煙場所以外での喫煙、自転車走行禁止区域で自転車に乗っている学生を注意指導している
- 同じことを二度尋ねないで良いように記録している

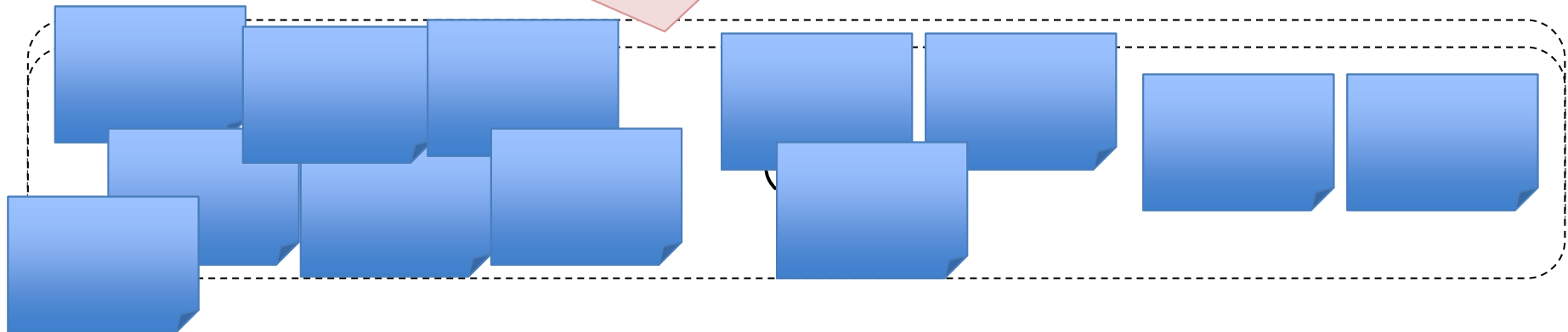
付箋のグループ分け

① 付箋に記述したことに対して

「どうして、なぜ〇〇を工夫したり、心がけたり、大切だと考えて実践しているんだろう」と自問してみてください。

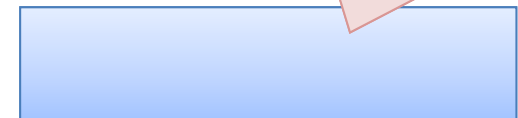
② 自問の結果、同じような考えになる付箋をグルーピングしてください。

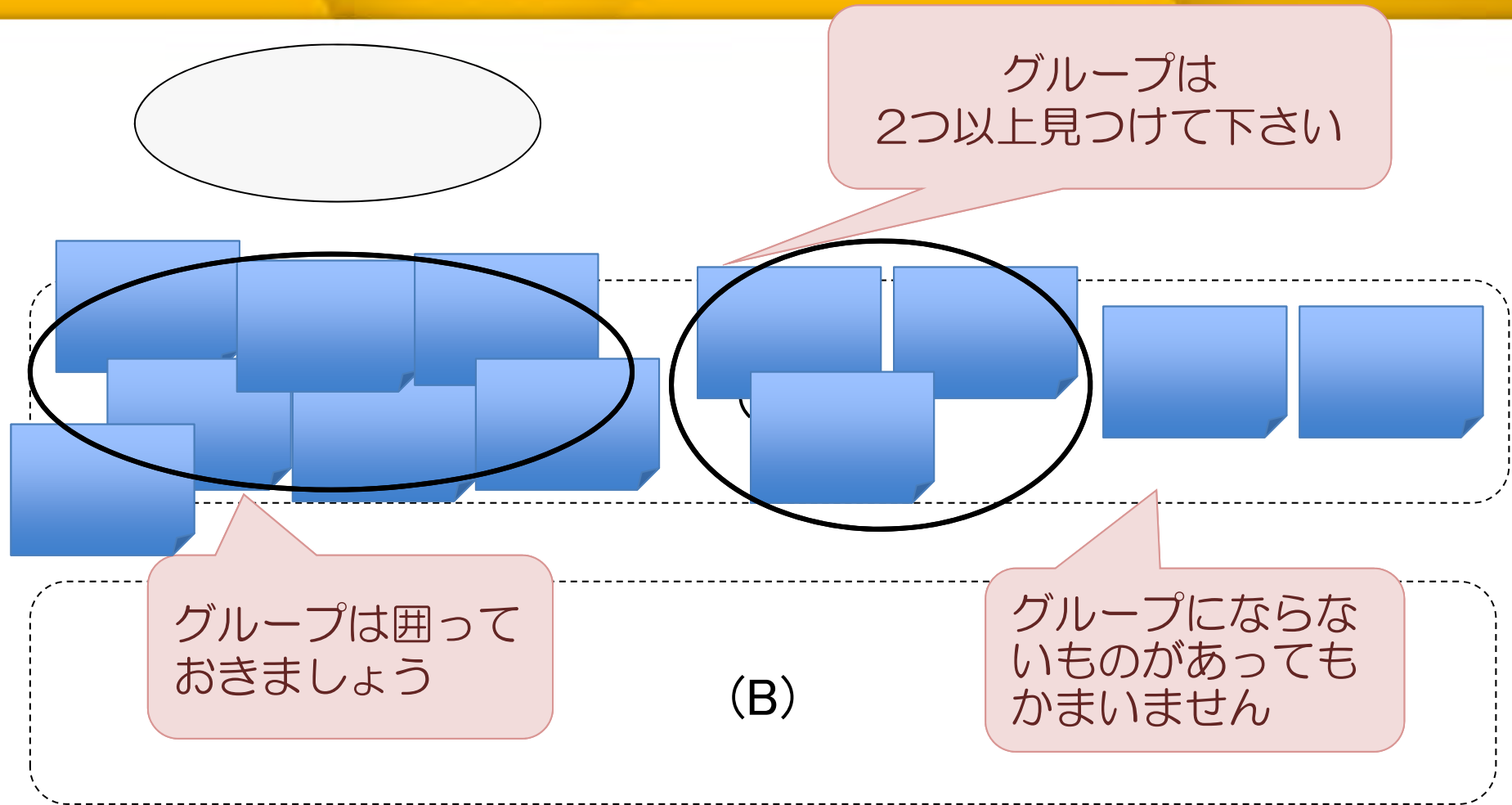
付箋をこの中にグループ分けして貼ってください



(D)
一番大きい、あるいは、一番自分にとって重要だと思うグループを左に貼ってください

右隅に自分の
専門領域を
メモしてください。





とにかく学生が好きである。学生に成長してほしいと思っている。

最左のグループの行動の「理由」をここに書きましょう

学生と飲む機会が多い

学生には気がついたらすぐ指導するよう心がけている

学生には自分から挨拶するようにしている

(B)

学生指導

ペアワーク

①AさんとBさんに分かれてください

②AさんはBさんのシートを見ながら、

「なぜ、〇〇のようなことをしているんですか？」

「どうして〇〇があなたにとって大切なんですか？」

「どうして〇〇が学生にとって大切なのですか？」

「学生(部下)にどう成長してほしいと願っているんですか？」

などの問いかけをしながら、相手の想いを聴きましょう。

もちろんシートに関する事で、これ以外のことを話してもらって大丈夫です。

③Bさんは、理由やさらに付箋を付け加えたい、
貼り場所を変えたいなどがあったら修正してください。

(10分間×2)

とにかく学生が好きである。学生に成長してほしいと思っている。

2つめのグループの行動の「理由」をここに書いてあげてください

学生と飲む機会が多い

学生には気がついたらすぐ指導するよう心がけている

学生には自分から挨拶をするようにしている

(B)

学生指導

それぞれの付箋に対して
どんなエビデンスがあるだろうか？

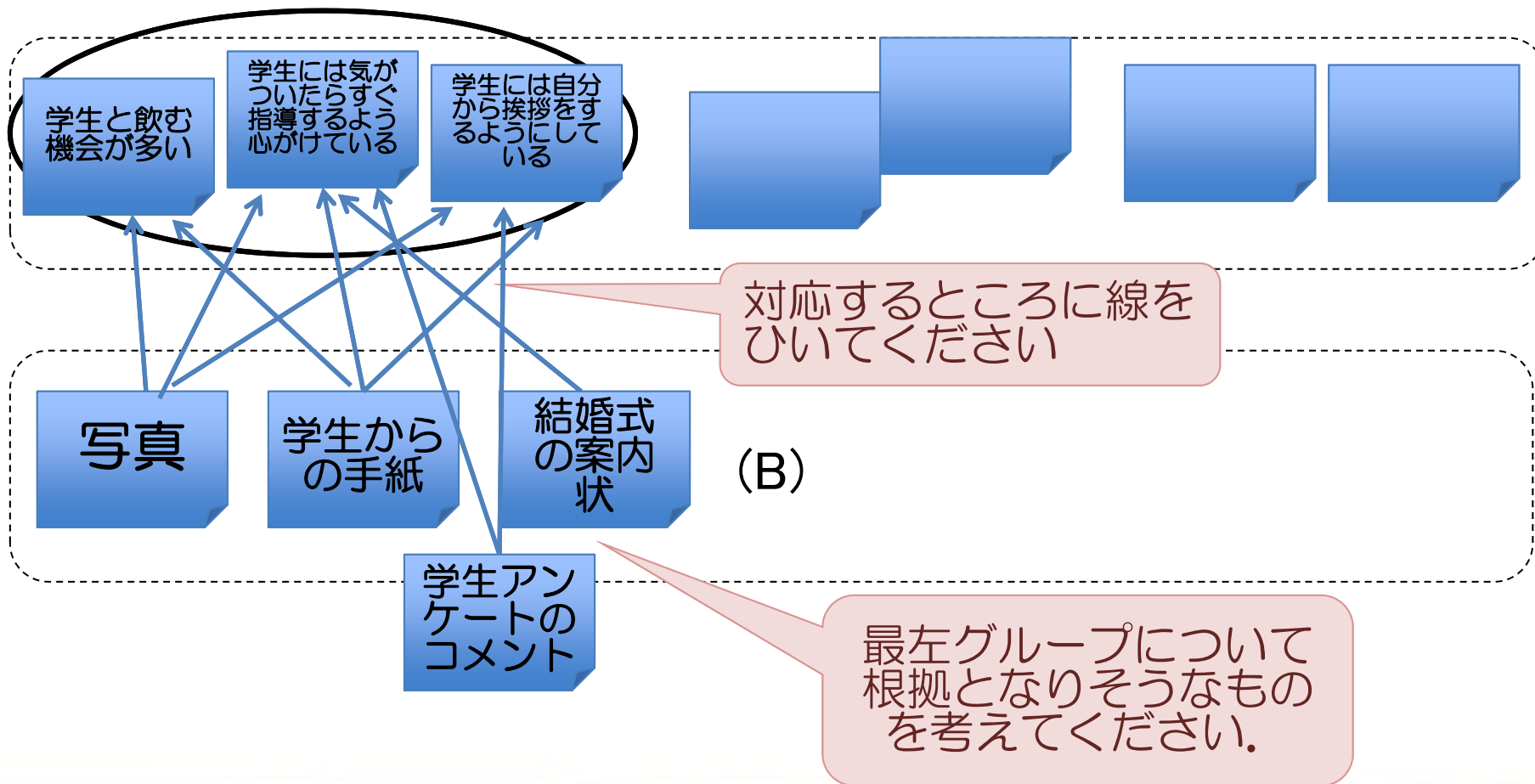
【例】

- 小まめに記録している／業務日誌
- 毎朝早く出勤している／タイムカードの写し
- チームで業務／チーム作業の役割分担表
- 常に企画提案している／企画提案書
- 人前で積極的に話す／パワーポイント資料
- 高等教育データ収集／高等教育関係資料
- 学生の手本となる服装／勤務中の全身写真
- 自己啓発／研修受講・修了証、資格証書
大学・大学院単位証明書、修了証
- 行事対応／ビデオ、CD
- 勤務態度，成果／人事考課評価書

【例】

- 人前で積極的に話す，専門領域の業務を熟知している／学内外からの講師依頼
- 専門領域の業務を熟知している／
専門領域の業務に関する論文寄稿
- 自己啓発／講習会のパンフレット
- 勤務態度や行動対応／新聞の切り抜き，表彰状

とにかく学生が好
きである。学生に
成長してほしいと
思っている。



ペアワーク

お互いのシートを見せ合いながら、

- ① エビデンスに信頼性があるかどうか確認し合いましょう。
- ② エビデンスが少ない付箋については、話し合いながら新たなエビデンスを発掘し合ってみましょう。

お互いのエビデンスについて話し合ってみましょう!!

なぜ・なぜ ワーク②

Q. 将来どんな大学職員になりたいですか？

その理由をどんどん掘り下げてください。

(10分間×2)

3. あなたは将来どんな職員になりたいですか？

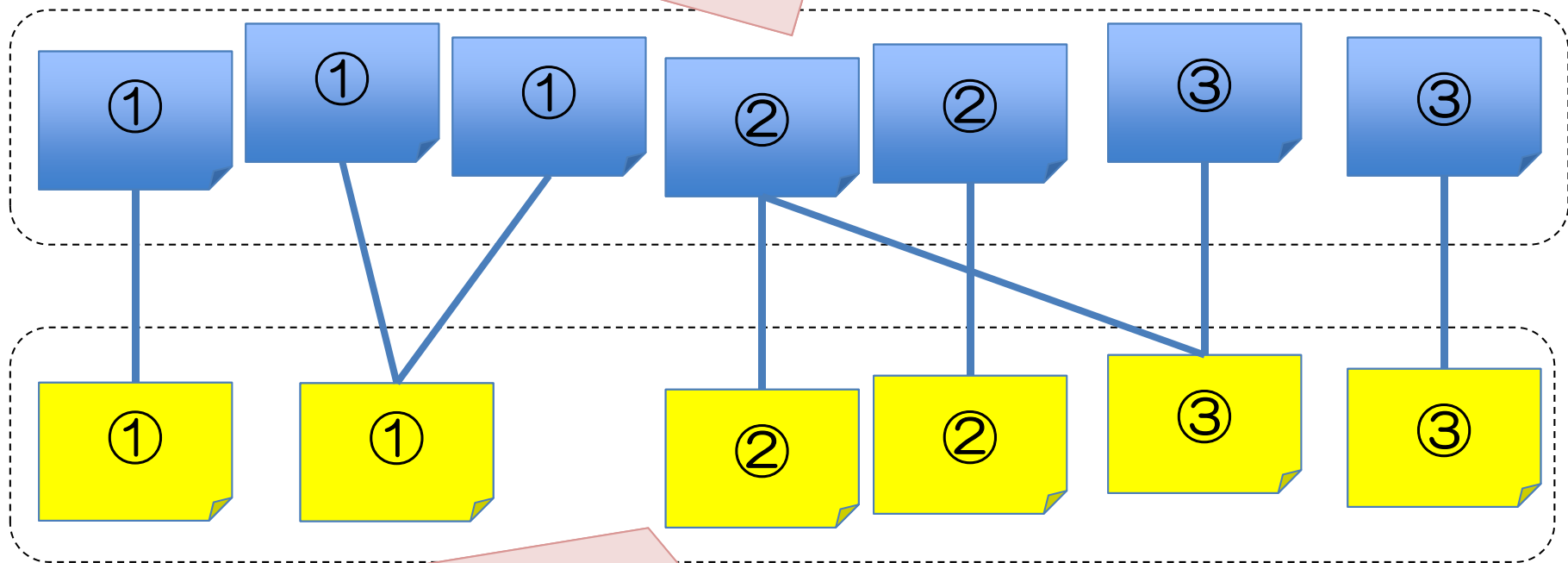
- ① 1～3年後のなりたい職員像
- ② いま現在、想像可能な最も遠い将来になりたい職員像
- ③ 最終目標

をたくさん挙げ、付箋1枚に一つ書いてください。
1～3年後の付箋には①、最も遠い将来には②を
付けてください。最終目標には③を付けてください
(5分間)

【例】

- ① 企画提案を積極的に行っている
人事法規に関しては熟知している
キャリアカウンセラーの資格を有している
職員や学生と飲み会を頻繁に行っている
一人で入試説明会で説明ができる
人前で上手に話すことができる
学生や職員に信頼される職員
- ② SDの講師を行える
大学改革を提案、実行できる
次の世代の職員を育てることができる
- ③ 地域と大学を結び架け橋役になっている
高等教育界に影響を与える人物
職員系列出身者からの学長

①近い将来から、②遠い将来、③最終目標を順に並べてください。



上記の目標の「エビデンス」を書き出してください。

(5分間)

最後に

お互いのシートを見せ合いながら、

お互いの描く将来像について話し合ってみましょう!!

(2分間×2)

終了です。
いかがでしたか？

